

議員研修会

「世界のDXの潮流とコロナ後の地方都市のデジタル化」

(講師) 福山市CDOチーム

1月20日に議員研修会を開催しました。今年度は、世界のDXや地方都市のデジタル化をテーマに、本市のCDOチームの4人の方にご講演をいただきました。

初めに、世界と日本のDXの概況について民間企業と行政それぞれの取り組みの事例紹介がありました。

世界のDXについて、企業においてはタクシーやホテル業界など、デジタルテクノロジーを使って既存の市場に新しい価値を加えて再構築している例を、また、行政においてはデンマークやエストニアなど危機感の強い国がDXをリードし、国民ファーストの意識を持って取り組んでいる例をご紹介します。



一方、日本において民間DX

は世界に後れを取っているものの大企業を中心に進んでおり、行政DXは新型コロナウイルス感染症を機に、書かない窓口やマイナンバーカードを活用した取り組みが広がっているとのことでした。

全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会をめざす、国の「デジタル田園都市国家構想」や「広島県行政デジタル化推進アクションプラン」の策定など、デジタルを活用した社会課題の解決への取り組みが進む中で、本市も産業、地域、行政のデジタル化を進め、「誰もが、デジタル化の恩恵を享受できる都市ふくやま」の実現に向けて着実に取り組んでいるとのことでした。これからは市民の皆さまの安心・快適な暮らしの実現に向けてDXをさらに推進し豊かで住みやすいまちを実現できるように、議員全員でしっかり取り組んでまいります。

◆講師紹介

■江波 龍一(CDO(最高デジタル責任者))

*CDOチームの司令塔として計画の策定や事業推進を中心に支援

■浦田有佳里(CDO統括補佐官)

*市内のデジタル人材育成・プロジェクトマネジメント・ビジネスアナリストとして業務分析などを中心に支援

■窪田 哲郎(CDO補佐官)

*プロジェクト管理ツールの運用など、行政のデジタル化推進を中心に支援

■米倉 隆介(CDO補佐官)

*コミュニケーションアプリを活用したサービス導入を中心に支援

※DX(Digital Transformation): デジタル技術を活用して、働き方や暮らし方など社会生活に大きな変革をもたらすこと

「ふくやま市議会だより」の表紙写真・絵画・イラスト大募集!

募集内容

福山市の魅力を紹介できる写真、絵画、イラスト
※縦型のもので、応募者が撮影または作成したもの

※8月をイメージした作品歓迎!

応募締切

8月1日発行号: 5月25日(必着)
※作品の応募は通年で受け付けます。
※採用者には記念品を進呈します。
※応募作品以外を掲載する場合があります。

詳しくは、

福山市のホームページ → 福山市議会 →
市議会だより → ここからもご覧いただけます。

公募要領はこちら



今月8日から、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが、季節性インフルエンザなどと同じ5類に移行される予定です。本市もウィズコロナへの取り組みを進め、2025年の世界バラ会議福山大会に向けて力強く進んで行きます。

また、19日からはG7広島サミットが開催されます。これを機に、核廃絶を含む国際的な課題が解決に向けて前進するよう願っております。

今号から「ふくやま市議会だより」は全ページがカラーになりました。今後もより読みやすい紙面づくりに努めてまいります。

(能宗正洋)



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

【ホームページアドレス】 <https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/gikai/>

【メールアドレス】 giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp

※QRコードは(株)デンソーウェアの登録商標です。

市議会はこちら

